

平成28年度 第1回奈良市子ども発達センター指定管理者選定委員会会議録			
開催日時	平成28年10月12日(水) 午前10時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟 6階 第21会議室		
出席者	委員	根来秀樹委員、澤井勝委員、久賀谷洋委員、木綿延幸委員、米浪奈美子委員 【計5人出席】	
	事務局	野儀子育て相談課長、池野主査、北室	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	子ども未来部子育て相談課
議題	1 奈良市子ども発達センター指定管理者選定委員会委員委嘱 2 委員長の選出、委員会の開催形態(公開・非公開)について 3 審査基準について 4 書類審査について 5 面接審査について 6 審査結果について		
決定事項	公募で指定管理者として申請のあった団体について、書類審査・面接審査を行い、申請団体を指定候補者として選定することが適当であると決定した。		
議事の内容			
1. 奈良市子ども発達センター指定管理者選定委員会委員の委嘱を行った。 2. 委員長の選出、委員会の開催形態(公開・非公開)について 澤井委員を委員長に選出した。 会議録の署名委員は、委員長と委員長の指名する根来委員に決定した。 委員会は公開で行い、傍聴者はいなかった。 3. 審査基準について 「奈良市指定管理者選定委員会審査項目表」の審査・採点の基準について、「奈良市子ども発達センターに係る指定管理者選定委員会審査要領」に基づき、事務局より説明を行った。 4. 書類審査 5. 面接審査 申請者が事業計画等について説明を行った。 6. 審査結果 奈良市指定管理者選定委員会審査要領第5条に基づき、申請者である社会福祉法人宝山寺福祉事業団 児童発達支援事業所「いっぽ」を当該施設の指定候補者として選定することが適当であると決定した。			
[委員による意見及び質問の要旨]			
事務局	ただいまの申請者による事業計画の説明と提案に対して質問等がございましたらお願いします。		
委員	知的障害のあるなしに関わらず、発達障害のある子ども達に、どのような発達支援を行っているのかを具体的な例をあげて教えてください。		
申請団体	現在は、並行通園2クラスであるが、そのほとんどが知的遅れが少ない発達障害のタイプです。在宅クラスと並行クラスで支援目標を変えています。		

ルールのある遊びを理解する力を身につけるといことが大切だと思います。幼稚園などでもお友達との関係において「あともう一步」という児童も多いです。「いっぽ」では、ルールをわかりやすい形に置きかえて、子どもが「自分でわかって参加できた」という経験を積んでいくことを大切にしています。自信をなくしていく児童も多いと感じるので、少し頑張ったらできるという経験を積んでほしいと思っています。クラスの中でも更に発達段階によってグループ分けをして、そういったプログラムを意識して取り入れています。また、職員も発達障害についての研修を受けて勉強を行っている状況です。

委員 それぞれの子どもの違いを見極めて支援を行うための支援計画や実施計画をお聞かせいただいたのですが、違いを見極めるためにどのようにアセスメントをされているのか教えて下さい。

申請団体 まず、健康増進課や療育相談室からの紹介の場合はそこでの相談の結果を情報共有させてもらいます。見学に来られた場合は面談を行い家庭での生活のお話を聞きます。相談支援事業所の利用計画を持ってこられる場合もありますので、利用前はそこで得られた情報を基にアセスメントします。利用に繋がってからは訓練等を利用される時に訓練の場で課題とされていることを共有させてもらっています。「いっぽ」では遠城寺式発達検査をしておおまかな発達の段階の把握をしています。法人の系列の仔鹿園で行っているポータージプログラムも用いて社会性や発達のどこでつまづいているのかもアセスメントしています。

委員 今、情報収集などでのアセスメントを教えてくださいなのですが、実際に子どもさんを見ている時に直接的な行動観察としてスタッフの方々は何かツールとして使っているものなどはありますか？

申請団体 ツールとしては特には使っていないですが、日々の子どものさんの状況を確認する中で課題が妥当かどうかについては一人一人の子どもの個別の支援計画を確認しています。また、利用者が帰った後に職員ミーティングを必ず行い、課題に入れなかった場面などの振り返りをスタッフ全員で行い、どうすべきだったのかを話し合い、どの職員が担当しても同じ対応ができるようには心がけています。

委員 職員間での共有はとても良いことだと思います。子どもを行動観察する中で、それぞれの特性を理解して支援をすることが大切であると思うが、どのように特性を理解し、分析するのかについて基本となるものが職員間で必要だと思います。来年度から地域支援の中で、幼稚園や保育園に行かれると思いますが、専門機関がどう専門性を提供していけるかということが問われています。地域の中で子どもを支援していくことはその場で子どもを理解して園や地域と共有していくことが出発となります。そういったところからも職員配置についてのお考えもお聞かせ下さい。

申請団体 職員配置につきましては、法人全体での異動となりますが、園との連携や指導などを行うことから、ある程度の経験のある職員の配置が必要であると思っています。地域支援には従来からの「いっぽ」職員を1名配置することを考えています。

委員 食事指導をされても食事提供はしないとのことですが、おやつ提供もないのでしょうか。

申請団体 委 員	<p>おやつ提供はしております。</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもさんの割合も増えています。重症化する場合があります。アレルギー関係における事故などはありませんでしたか。</p>
申請団体 委 員	<p>以前事故がありました。お預かりしている子どもさんなのですが、アナフィラキシーのある児童で、当時はスタッフにアナフィラキシーの知識があまりなく、提供したおやつにアレルギーの物質が含まれていました。それからは、法人全体で勉強会を行いました。また、おやつ提供の場所の設定や食器の使い方、部屋の消毒等、細かな面の試行錯誤を繰り返しています。現在も通園されていますが、それ以降は事故はない状況です。エピペンが使える年齢になられてからは、保護者から使い方を教わり持参してもらっています。アレルギーのある児童についてはアレルギー対策のための面接を必ず行うようにしています。かなり具体的に聞き取るようにしています。</p> <p>法人では保育事業も展開しておられるので、法人全体でアレルギーの研修会もしていただいたことは良いことだと思いました。</p> <p>並行通園されている子どもさんには地域の園にも行かれているとのことですが、療育相談室も園巡回相談を行っています。「いっぽ」が実施されている園に行かれる目的は子どもさんの地域園での状況把握のためですか。園へのアドバイスという意味もありますか。</p>
申請団体 委 員	<p>園から希望された場合はアドバイスをさせていただいているが、指導が主になると園によっては敷居が高くなることもあるので、気を付けています。毎日保育する場と週1回の場での違いもあるので、お互いの場を尊重したいと思っています。</p> <p>民間の事業所に対しては、公立の園などは敷居が高いかもしれませんね。アドバイスをしたいけど難しい時などは療育相談室の市職員からアドバイスできることもあると思いますので、連携を取ってほしいと思います。</p> <p>人員配置についてですが、職員の方全員が今の指定管理の業務についていただけると考えて良いのでしょうか。予算面で指定管理料が下がっているのに、障害児通所支援の部分での収入の予定を高く見越していただいていますか。</p>
申請団体 委 員	<p>奈良市の支給基準が月9日ですので、一人あたり週2日程利用が可能だが、利用希望者が増えており週2回利用することも難しくなっている状況です。今年の傾向からみれば週6日療育を開所すると8割の利用率を見込めるかと考えています。</p> <p>かなり多忙なスタッフのスケジュールだと思うのですが、パートの保育士の時間制限もあると思いますし、研修会参加などは勤務時間でされていますか。休日に行かれていますか。職員については募集の工夫などはありますか。</p>
申請団体	<p>研修は時間内に必要なものは参加しています。非常勤職員も研修にできるだけ参加してもらっています。募集は毎年度、法人全体で20人弱採用がありますが、正規職員は法人雇用となります。非常勤職員やパートについては人脈も頼りに広く人材を求めています。</p>
資 料	<p>資料1 奈良市子ども発達センター指定管理者選定委員名簿</p> <p>資料2 奈良市指定管理者選定委員会規則</p>

	資料3 奈良市子ども発達センターに係る奈良市指定管理者選定委員会運営要領
	資料4 奈良市子ども発達センター指定管理者申請書
	資料5 奈良市子ども発達センターに係る奈良市指定管理者選定委員会審査要領
	資料6 奈良市指定管理者選定委員会 審査項目表
	資料7 財務分析診断シート